

2025 年 10 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・  
2026 年 4 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

|              |                                         |
|--------------|-----------------------------------------|
| 講座<br>(学修分野) | 国際比較経済（グローバル経営・経済）、<br>経済理論・統計、政策科学、経営学 |
| 専門科目         | ミクロ経済学                                  |

以下の問 1、問 2 の両方に解答しなさい。なお、問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し、問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。導出過程も書くこと。

問 1  $y > 0$  を生産量とし、プライステーカーである企業を考える。以下の問いに答えなさい。

- (1) 総費用関数を  $C(y) = y^3 - 2y^2 + 6y + 10$  とする。このとき、操業停止価格を求めなさい。また、価格  $p = 15$  のとき、利潤を最大にする生産量を求めなさい。
- (2) 総費用関数を  $C(y) = y^2 + 6$  とする。このとき、損益分岐価格を求めなさい。

問 2 代表的家計の効用関数が以下で表されたとする。

$$u = x^{\frac{1}{2}} N^{\frac{1}{2}}$$

[ $u$ : 効用水準、 $x$ :  $X$  財の消費量、 $N$ : 余暇時間（単位：時間、 $0 < N < 24$ ）]

この個人は、労働供給によって得た賃金所得と非労働所得の合計をすべて  $X$  財の購入に充てるものとし、1 日を労働時間 ( $L$ ) か余暇時間のいずれかに充てるものとする。いま、 $X$  財の価格を  $p$ 、賃金率を  $w$ 、非労働所得を  $M$ 、個人が使用可能な時間の上限を  $\bar{T}$  とする。以下の問いに答えなさい。

- (1) ラグランジュ乗数法を用いて、1 階の条件を導出しなさい。
- (2) 最適消費量の組み合わせ  $(x^*, N^*)$  を求めなさい。

以上